



【音楽アラカルト】(その5)
～温故知新・春～

AAFC 例会資料

2012/4/15

担当：後藤 榮一

このところ、手持ちのSP・LPレコードやFM音源を少しずつデジタル(CD)化しています。可能な限りオリジナルの音色・薫りを残すよう1ビットDSD(Direct Stream Digital)によりデジタル化しています。今日、聴いていただくCDもDSD・CDです。

先ず、一昔？前のラジオ・テレビ主題歌集を聴いていただき束の間の一刻、この時代に想いを馳せていただければと思います。また、この季節にふさわしいベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ第5番 作品24「春」をクライスラー、モリーニの名演奏でお楽しみ下さい。

ということで、今回のテーマは「古きをたずね、新しきを知る」です。

I. ラジオ・テレビ主題歌集

音源：NHK FM

約20分

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 紅孔雀の歌 | 1954年ラジオ主題歌 |
| 2. トンガリ帽子(鐘の鳴る丘) | 1947年ラジオ主題歌 |
| 3. バス通り裏 | 1958年テレビ主題歌 |
| 4. 笛吹童子の歌 | 1953年ラジオ主題歌 |
| 5. 俺あ三太だ(三太物語) | 1955年ラジオ主題歌 |
| 6. 一丁目一番地 | 1957年ラジオ主題歌 |
| 7. ヤン坊ニン坊トン坊 | 1954年ラジオ主題歌 |
| 8. ひょっこりひょうたん島 | 1964年テレビ主題歌 |

II. ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調作品24「春」

1. 演奏：フリッツ・クライスラー

約21分

1935年、1936年録音のSP盤より復刻 DSD Recording
グッディーズ '8CDR-3014

2. 演奏：エリカ・モリーニ

時間迄

NHK FM 20世紀の名演奏から 1961年録音
ルドルフ・フィルクスニー(p)

フリッツ・クライスラー (Fritz Kreisler 1875-1962)：ウィーン生まれ。7歳でウィーン音楽院へ特別入学を許可される。パリ音楽院で研鑽を積み、13歳でアメリカデビューを果たし、翌年マウリツィ・ローゼンタールとポーランドで演奏旅行を行い、後に語り草になる圧倒的な大成功を収める。1941年瀕死の交通事故を負い、この年で事実上の演奏活動を終える。その後、アメリカの市民権を得て1962年に没す。

周知のとおり、数々のヴァイオリンの名曲を作曲、演奏家としても高貴さと優雅さを併せ持つ、世紀を代表する傑出した音楽家である。

エリカ・モリーニ (Erika Morini 1904-1995)：ウィーンに生まれ、8歳でウィーン音楽院に入学。14歳でベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスorc.と共演、センセーショナルにデビュー。以降、フルトヴェングラー、メンゲルベルク、ワルター等名指揮者との共演を果たす。カザルスをして「音楽の天使」と言わしめた。1921年、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場デビュー。1938年渡米、以後1976年の引退まで演奏活動を続けた。

技術的完璧さとウィーン型の音楽師的かつロマンティックな情熱を併せ持つと言われる。

以上